

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公表番号】特表2003-530100(P2003-530100A)

【公表日】平成15年10月14日(2003.10.14)

【出願番号】特願2001-575152(P2001-575152)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	35/48	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
C 12 N	5/06	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	A
A 6 1 K	35/48	
A 6 1 P	15/00	
C 12 N	5/00	Z N A E

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月23日(2006.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ヒトミュラー管由来上皮細胞の実質的に純粋な集団であって、ここで、該ミュラー管由来上皮細胞が、子宮、卵管、頸部、および腔の細胞に分化し得る、多能性の能力を有する、ヒトミュラー管由来上皮細胞の実質的に純粋な集団。

【請求項2】前記ミュラー管由来上皮細胞が、無血清培地中に維持される、請求項1に記載のミュラー管由来上皮細胞。

【請求項3】無血清培地中に維持される前記ミュラー管由来上皮細胞が、子宮、卵管、頸部、および腔の細胞に分化する多能性の可能性を保持する、請求項2に記載のミュラー管由来上皮細胞。

【請求項4】前記ミュラー管由来上皮細胞の細胞表面が、実質的に血清の生体分子を含まない、請求項3に記載のミュラー管由来上皮細胞。

【請求項5】前記ミュラー管由来上皮細胞が、少なくとも1つの細胞表面マーカーの発現によって同定される、請求項1に記載のミュラー管由来上皮細胞。

【請求項6】前記細胞表面のマーカーが、サイトケラチンである、請求項5に記載のミュラー管由来上皮細胞。

【請求項7】請求項6に記載のミュラー管由来上皮細胞であって、ここで、前記サイトケラチンが、サイトケラチン1、サイトケラチン5、サイトケラチン6、サイトケラチン7、サイトケラチン8、サイトケラチン10、サイトケラチン11、サイトケラチン13、サイトケラチン15、サイトケラチン16、サイトケラチン18およびサイトケラチン19からなる群より選択される、ミュラー管由来上皮細胞。

【請求項8】前記ミュラー管由来上皮細胞が、細胞表面マーカーとしてビメンチンをさらに発現する、請求項7に記載のミュラー管由来上皮細胞。

【請求項9】前記ミュラー管由来上皮細胞が、多角形形状の上皮細胞の細胞形態を有する、請求項8に記載のミュラー管由来上皮細胞。

【請求項10】ミュラー管由来上皮細胞の実質的に純粋な集団を**生体外**で単離する

方法であつて、

(a) ヒト胎児ミュラー管由来細胞の供給源を顕微解剖する工程；

(b) 該ミュラー管由来上皮細胞の供給源を、該ミュラー管由来上皮細胞を維持するのに十分な培養条件下で、無血清栄養培地中に配置する工程であつて、ここで、該無血清培地が、インスリン、トランスフェリン、-トコフェロールおよびアプロチニンからなる栄養素を含む、工程；

(c) ミュラー管由来細胞を、該ミュラー管由来細胞の供給源から該無血清栄養培地へ移動させるのに十分な適切な培養条件を維持する工程；

(d) ミュラー管由来細胞に単層のコロニーを形成させるのに十分な適切な培養条件を維持する工程；および

(e) 該単層のコロニーを継代培養して、ミュラー管由来上皮細胞の実質的に純粋な集団を得る工程、

を包含する、方法。

【請求項 1 1】 異種レシピエントに対する免疫原の供給源を提供するための組成物であつて、請求項 1 に記載のヒトミュラー管由来上皮細胞の複数を、該レシピエントにおける免疫応答を誘導するための有効量で含む、組成物。

【請求項 1 2】 非ヒト哺乳動物のレシピエントにおいてミュラー管由来細胞のヒト組織モデルを作製する方法であつて、該レシピエントへの請求項 1 に記載のヒトミュラー管由来上皮細胞の複数を該レシピエントに投与する工程であつて、ここで、該ミュラー管由来上皮細胞は、まず無血清培地中に維持され、次いで、該レシピエント内の位置で投与され、該位置は、該ミュラー管由来上皮細胞の増殖および分化を支持し得る、工程を包含する、方法。

【請求項 1 3】 レシピエントに対する細胞治療を提供するための組成物であつて、請求項 1 に記載のヒトミュラー管由来上皮細胞の複数を含み、ここで、該ミュラー管由来上皮細胞は、無血清培地中で増殖されたものであり、該レシピエント内の位置で投与されるのに適しており、該位置は、該ミュラー管由来上皮細胞の増殖および分化を支持し得る、組成物。

【請求項 1 4】 少なくとも 1 つの薬物の薬学的開発のための組成物であつて、請求項 1 に記載のヒトミュラー管由来上皮細胞の集団を含み、該ミュラー管由来上皮細胞またはその細胞の任意の部分が開発下の該薬物の標的として使用するのに適している、組成物。

【請求項 1 5】 バイオアッセイの開発のための組成物であつて、請求項 1 に記載のヒトミュラー管由来上皮細胞から単離された核酸またはタンパク質を含み、該核酸またはタンパク質が該バイオアッセイにおける基本化合物の 1 以上として使用するのに適している、組成物。